

1. 教育の責任

令和4年度における教育学は、こども教育コース一年生、こども養護コース一年生、こども保育コース一年生、グローバル共生コース二年生、司書アーカイブズコース一年生（学校司書）が対象者となっていた。

教育学は、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想に関する教科である。（＜教職課程コアカリキュラム対応表＞参照）

こども教育コースは、乳幼児期から学童期までを視野に入れ、地域の教育力向上に貢献できる質の高い教育者・保育者を育成することを教育目標としている。

こども保育コースは、子どもの視点に立ち温かなまなざしを持って、地域社会のニーズに柔軟に応えられる保育者を育成することを教育目標としている。

こども養護コースは、子どもたちの健康で安全な未来を創造していくことで、地域の教育と保育に貢献する人財を育成することを教育目標としている。

司書アーカイブズコースは、特に司書としての能力やアーカイブズ（資料記録など）に関しての知識や技能を持って、積極的に地域の要請に応えようとする人材を育成することを教育目標にしている。

教育学の責任は、学びの内容がそれぞれの教育目標と学習成果（こども未来学科はそれぞれ3と4、司書関係は2）の達成に資することのできるようにすることである。

2. 教育の実施に関する理念

教育学の全体的な目標は「教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してき

たのかを理解する」ことである。

この全体的な目標を達成するために、以下の5つの到達目標を教育の実施に関する理念として設定している。

- ① 教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて理解する。
- ② これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。
- ③ 乳幼児期の教育の特性及び子ども家庭福祉の関連性について理解する。
- ④ 人間形成を学校・家庭・地域・社会等との関連性において理解する。
- ⑤ 日本の教育の動向と課題について歴史的な視点から理解する。

（＜令和4年度シラバス＞参照）

3. 教育の方法

短大に入学すると同時に、教育について多様な学びをすることになる。これまで学んだことのないような内容に戸惑いを覚える学生もいると思われる。このことを想定して、授業は、どのようなことでも質問でき、質問内容が肯定的に受け止められること、そして、授業者は必ず丁寧に応答することを心がけている。こうした雰囲気作りをすることにより、それが主体的な学び、対話的な学び、深い学びにつながっていくと考える。

この前提に立って、以下の6つの項目を教育の方法として取組んでいる。

- ① 取扱う内容は、一授業一テーマとし、ポイントを明確にする。
- ② （教科書以外の）資料と課題を事前に Melly にアップしておき、学生の主体的な学び（予習・調べ学習など）につなげていく。
- ③ こども教育コースでは、授業内容が教員採用試

験問題とどのように関連しているかを具体的に取上げる。

- ④ こども養護コースでは、授業内容が教員採用試験問題とどのように関連しているかを具体的に取上げる。
- ⑤ こども保育コースでは、乳幼児期の教育・保育の内容に関連づける。
- ⑥ 司書アーカイブズコースでは、教育の理念や様々な教育問題への学びを学校司書の業務と関連付ける。
- ⑦ 授業内容をイメージできるようなビデオ教材を用いることで、授業内容をより身近に感じることができるようにする。
- ⑧ 学生がこれまで辿ってきた教育体験を振り返りながら、今、求められている教育の在り方を理解できるように具体的な言葉を選んで説明する。

4. 教育の成果

教育学の授業に関しては、成績評価及び学生の満足度及び学生のコメントから判断すると、令和4年度は、教育の成果があがっていると思われる。特に、学生の満足度は、以前と比較して、上がっている。

(根拠資料)

○令和4年度における教育学の試験結果

秀：27名 優：31名 良：25名 可：1名

○学生の満足度（授業アンケートの評価結果）

（総合評価）5：33名 4：39名 3：8名 2：1名

○令和4年度教育学の授業評価アンケートの記述より

- ・DVD選びのセンスがいいなおもった。
- ・たくさん問題を取り扱って面白い。
- ・とても分かりやすい授業だと思います。
- ・テーマに沿ったビデオを見ることでよく分からなかったことが理解できて良かったです。
- ・ビデオが毎週楽しみなので、これからも続けて欲しいです。また、パワーポイントをそのまま紙にして配ってくださるので、とても授業が受けやすいです。
- ・プリントにまとまっていて授業で聞いたことをあとから見ても思い出せるので良いと思い

ます。

- ・ビデオ鑑賞もあってインクルーシブ教育の大切さをより深く感じました。
- ・メリーでの資料や、ビデオで学ぶことも多く、前向きに授業にのぞむことができました。ありがとうございました。
- ・色んなビデオを通して命の尊さや差別の醜さ、夢を諦めないことの希望を学べて良かったです。体罰やいじめなど重大な問題の考え方も学べたし、対処の仕方も学べたので良かったです。
- ・スライドと手元にある資料が一致しない時があって、ほんの少しだけ見にくかった。
- ・授業の前の日までに資料を事前にメリーに流して下さったり、当日の授業では配られた資料をもとに大事な部分は赤で文字を表示されたり、口頭や板書されたていて、理解しやすかったです。また、授業のテーマになっている最新のニュースがあれば紹介していただいたりと私たち生徒に教えるにあたって大変工夫がされていてどの授業も先生から学ぶことができよかったですと思いました。
- ・毎回丁寧にポイントを分かりやすく授業して頂いていたので、とても楽しく、とても有意義でした。ありがとうございました。

5. 目標

令和4年度の教育学に関しては、比較的高い成果が得られたと判断できる。演習や実技科目ではなく、座学的な要素が強いため、できる限り内容をわかりやすくかみ砕いて説明するよう努めたり、コミュニケーションを心がけたり、内容を具体的にイメージできるようビデオ教材を用いたりした結果だと考える。

また、遠隔授業から対面授業になってからも、せっかく学んだ遠隔授業の仕方を活用したことは、授業改善に役立ったと思われる。授業の資料と課題を前もってMellyにアップすることによって、予習や調べ学習などの主体的な学びが可能なように工夫をしたこと、Mellyを活用して、授業に関する質問等に応えるなどのやり取りなどを行うことで、学生たちとより丁寧な関わりを意識していきたい。